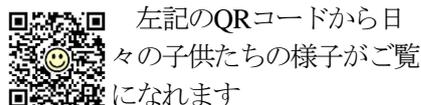




# 千代田



## 令和6年度がスタートして3カ月 いよいよ梅雨入りです

令和6年度がスタートして、早3カ月になろうとしています。夏休みまであと1カ月もありません。学校では、学期末や夏休みに向けた取組が始まっています。忙しく、慌ただしい毎日となりますが計画的効率的に取組を進め、余裕、ゆとりをもって夏休みを迎えられるようにしていきたいと思えます。梅雨が明ければ夏本番です。熱中症の予防・対策も行っていきます。

4月から行っていることがあります。新聞の教育関係の記事の切り抜きのスクラップです。この3カ月の間にどんなことがあったかという・・・印象に残っている記事をいくつかあげてみます。

まず、教員不足・働き方改革の問題。2025年度採用の公立学校の志願状況の倍率は過去最低を記録したとのこと。小学校は1.4倍、中学校は2.8倍でした。教員は大変だと言われていて、改善は必要だと思えます。しかし、とてもやりがいのある仕事で日々充実しています。

つぎに、ICTに関する記事です。悩みをアプリで相談、デジタルシティズンシップを育む教育等、興味深い内容でした。甲府市でもICT活用は力を入れており、「きもちメーター」で心の健康観察を、また、デジタル教科書への対応を強化するなど他市町村に先がけた取組を行っています。

事件事故や不祥事に関する記事もありました。教育は信頼のうえに成り立つものです。私たち教員は誠意と信頼が第一であることを再度確認し、「安全・



安心」な学校づくりを目指したいと思います。

## 平和教育 ~SDGs~ ウェルビーイング

2023年10月、ガザ地区で起こった対立は9カ月となり、長期化が懸念されています。世界ではいまだに戦争や紛争がなくなることはありません。これらの軍事侵攻は、日本の国民生活だけでなく、世界中の人々の生活に大きな影響を及ぼしています。かつて日本も、甲府空襲や広島・長崎への原爆投下等、悲惨な戦争を体験しました。戦争の歴史から、平和教育を進めるうえで7月8月は重要な月と言えます。グローバルな現代社会において、海外の問題も地球一市民として、自分事としてとらえられるようになることがSDGsの第一歩です。「地球規模で考え、足もと(地域)から行動。千代田から世界で活躍する子供の育成」を目標に、持続可能な社会、学校の実現を目指していこうと思えます。

さて、この持続可能な社会の創り手の育成には、日本社会に根ざした「ウェルビーイング(Well-Being)」の向上を実現させなければならないと言われていています。最近よく耳にするこの言葉は、国の教育振興基本計画に書かれています。「ウェルビーイング」とは、学業成績のみを重視するのではなく、心身の健康と幸福を何より大切にしなければならないという考え方です。子供自身が幸福を感じ、ストレス管理をし、感情の調整や社会的スキルを向上させていくこと。これがウェルビーイングな生き方につながります。



## 読み聞かせ ～CAN～

CANとは、チヨダ アシスタント ネットワークのことで、様々な学校教育活動に、地域の協力を得ようとする取組です。

令和5年度から、保護者による朝の読み聞かせをお願いしています。本年度は5月30日（木）に、保護者の方による第1回目の読み聞かせをおこないました。本を読んでもらうということ、声で入ってくる文字は、やはり黙読と違い、そして、デジタルと全く違う温かみを感じました。お家の人が教室で本を読んでもくれる時間は、子供たちにとって、とてもいい朝の時間になりました。



## いよいよプールが始まりました

6月10日（月）プール開きを青空の下で行うことができました。残念ながら当日は気温が低くてプールに入ることができませんでしたが、1年生から6年生がプール使用期間に安全に水泳の学習ができるようにプール使用上の注意事項を確認しました。実際にプールに入ったのは6月13日（木）からとなりました。まだ少し水温が低く、冷たく感じましたが、気持ちよく久しぶりのプールを楽しみました。水をかけたり、歩いたりするなどして、まずは水遊びの時間を楽しみました。

水に慣れ親しみながら、楽しみながら、そして夏休みなど、川や海で遊ぶ機会での方が一の水難事故への身の守り方の勉強も含めて、プール授業を行ってほしいと思います。



## 避難訓練（引き渡し訓練）



6月3日（月）避難訓練（引き渡し訓練）を行いました。その避難訓練の当日の朝6時31分に鳴った緊急地震速報のアラート音に緊張がはりました。能登地震から5カ月が経過しま

した。いつ、おこるかわからない災害に、日頃から準備をしていかなければなりません。

本当に災害が起こったら、甲府市内は渋滞になると思います。また、道路は倒木などにより遮断されることもあるかもしれません。電波の状況も悪くなるかもしれません。自宅周辺の危険箇所や一時避難場所等を児童・家庭・学校ともに確認しました。また、学校では、子供たちの目線からの「あぶないもの」「あぶないところ」「あぶないこと」を子供たちから直接聞いて、防災について考えていきたいと思っています。



## 3年生の理科 ～SDGsの取組～



6月7日（金）かみぞろう珈琲の市川先生に来ていただいて、自然環境や生物（蝶や虫）の勉強をしました。3年生の理科の勉強です。学校の畑や校庭で虫を見つけるフィ

ールドワークは、たくさんの発見もあって、千代田を知る楽しく興味深い時間となりました。

学校だより「千代田」は千代田小学校の教育活動を知っていただき、学校・家庭・地域が共に手を携えながら子供たちのよりよい成長のために前に進んでいけるようにと願いながら発行をします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。  
学校便りホームページ版は右記QRコードよりご覧いただけます。

